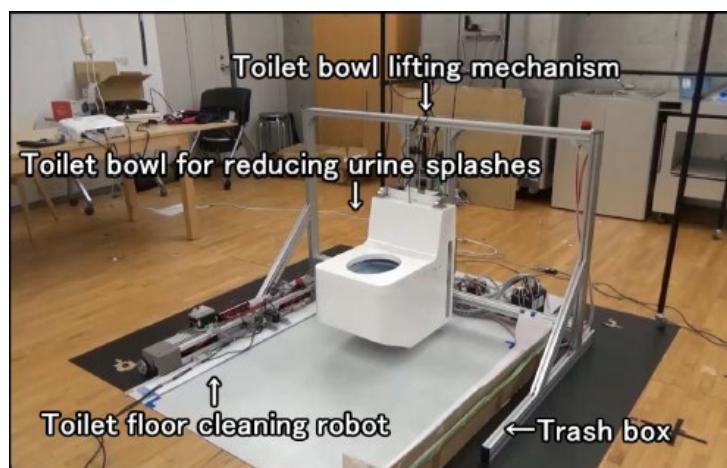


報道関係各位

2021 年 8 月 27 日

工学院大学、コンビニのトイレ掃除ロボを開発、実用化に挑む ～実用化コンペに参戦、優勝目指す～

工学院大学(学長:伊藤慎一郎、所在地:東京都新宿区／八王子市)の鈴木敏彦研究室(建築デザイン学科)は、東京都立大学 和田一義研究室と共同でコンビニエンス・ストアのトイレ掃除自動ロボを開発し、Future Convenience Store Challenge トイレ清掃タスクに参戦します。同研究室は、2018 年の同大会で 2 位に相当する WRS 実行委員長賞を受賞しており、本大会では、改良版最新型機で参戦し優勝を目指します。



鈴木教授が開発したトイレ掃除ロボ(2018 年制作版、特願 2019-150381)

この競技大会は、コンビニエンス・ストアに実装可能で、利用者と従業員の両者に快適な空間を提供することが必須ポイントとされます。そのため、技術だけではなく、暮らしをより良くするデザインが求められます。建築分野における空間づくり、意匠デザインはもちろん、全国各地に設置できる汎用性と耐久性が不可欠です。本大会への鈴木教授の参戦は、コロナ禍における衛生管理を支援する技術を社会実装し、with コロナの暮らし方の支援となることをねらっています。

鈴木教授はこれまで「with コロナの暮らしをデザインする」をテーマに、環境に配慮したアルミ製の「ソリッドハニカムテーブル」や、リモートワークの需要にこたえる「ホームオフィス」、避難所で 3 密を避ける「ダンボールスリープカプセル」などを開発しています。

■コンテストの詳細

- ・大会名 : World Robot Summit 2020(WRS2020)、Future Service Design、トイレ清掃タスク
- ・大会主催者 : 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
- ・タスク実施協力社: セブン&アイ・ホールディングス
- ・開催時期 : 2021 年 9 月 9 日-12 日

トイレ掃除ロボット参考データ: 自動昇降式大小兼用便器 によるトイレ空間の知能化

(特願 2019-150381(国内優先基礎出願: 特願 2018-194882))

https://shingi.jst.go.jp/var/rev0/0001/0626/2019_kogakuin_3.pdf

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 広報課／担当: 堀口・樋口・森川

03-3340-1498 | gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp